

[第 33 回例会報告]

1. 参加者数：251名（学生会員10名含む）、1日目公開シンポジウム参加者数：386名
2. 講演件数：10件（一般講演）
3. 今回の例会を振り返って（運営委員長：中 茂樹 富山大学）

今回の例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第31回、第32回例会に続き、オンライン開催となりました。有機EL討論会は、対面での交流・情報交換の場を提供するところに意義があり、また先送りとしていた15周年記念シンポジウムを是非現地開催とすべく検討を進めてまいりましたが、参加者の安全を最優先する方向でオンラインとさせていただきます。参加者および運営側もオンライン開催に慣れてきており、スムーズな運営ができたこと、感謝申し上げます。また、当初現地で開催する方向での様々な準備、検討も含め、例会の開催にご協力いただきました山形大学の皆様に感謝申し上げます。

今回の例会は初日に15周年記念公開シンポジウムを開催しました。公開シンポジウムに先立ち、午前中にはZoomによる山形大学の有機EL関連研究施設と有機光エレクトロニクス実用化開発センター（i³OPERA）の施設見学会を実施しました。山形大学およびi³OPERAの関係者の皆様には、事前のビデオ作成などご協力いただき、この場を借りて感謝申し上げます。午後は公開シンポジウムで4件の特別講演を実施しました。山形大学の城戸淳二先生からは「有機EL研究：フラスコから大型テレビまでの30年」と題し、城戸先生がこれまで携わってこられた有機EL研究と今後どの方向に進むべきかについて幅広くご講演いただきました。Universal Display CorporationのJulie Brown氏からは「Next Frontiers in OLED Technology」と題し、UDCにおける材料開発の歴史に始まり、赤外発光有機ELデバイスの開発状況についてご講演いただきました。九州大学の安達千波矢先生からは「有機CT相互作用が切り拓く高性能OLEDと学理の深化」と題し、分子間相互作用の重要性と光化学・固体物性の学理の重要性についてご講演いただきました。出光興産株式会社の河村祐一郎氏からは「出光興産の有機EL材料開発史—青色実用化への挑戦と企業研究の課題—」と題し、出光興産における青色蛍光材料の開発・実用化までの歴史と今後の課題についてご講演をいただきました。特別講演終了後には、デジタル展示会出展6社によるショートプレゼンを開催し、初の試みとなるOVICEによるオンライン交流会を開催しました。

二日目は一般講演を開催し、投稿件数は伸び悩んだものの、一般口頭発表10件の講演がありました。発光材料、分子配向、デバイス、評価・解析の4セッションを設け、様々な報告がなされました。特にTADF分子における高効率発光メカニズム解析や超低仕事関数電極による低電圧駆動OLEDなど、今後有機EL材料・デバイスの基礎的な理解や高性能化がさらに進むことが期待される内容でした。今回は初日が公開シンポジウムであり、一般講演が二日目のみであったことから、10件の講演件数でもどうにかプログラム構成可能でしたが、投稿件数が少ない状況が続いているという傾向は変わっておりません。例会の投稿要領にもありますように、「論文のオリジナリティーは必ずしも求めない」とあります。企業側からの発表について、直接のアウトプットの話は難しくとも、有機ELにおける諸課題の提案、コメントでも結構ですので、コミュニティーで検討すべき問題点などご提案いただくと助かります。

アンケートについては今回16名の方から回答をいただきました。取り上げるべきテーマ、運営上の問題など、頂いたコメントは今後の参考とさせていただきます。また、今回のオンライン開催に関しては、「出張せず参加できてとてもありがたい」、「参加のハードルが下がりました」といった好意的な感想をいただきました。一方、「予稿集をもう少し早く出して欲しい」、「発表時間にゆとりを持ってほしい」、「休憩時間が短い」などのご意見をいただきました。今後のプログラム編成の検討事項とさせていただきます。運営委員会としては引き続き、有機ELの最新動向に関連するトピック、及び有機ELのデバイス開発や評価・基礎物性などの講演を募って、会員の皆様の研究開発に生かして頂けるような例会を目指していきたいと考えております。よろしくごお願い致します。

4. 例会プログラム・アンケート結果

<http://www.yuki-tohronkai.jp/meeting-list.htm> : 例会開催一覧

5. 次回例会の開催案内 (副実行委員長: 野田 和宏 (株式会社 JOLED))

第34回例会は、新型コロナウイルスの状況を踏まえて、2022年6月30日(木)、7月1日(金)に国際交流会議場(東京 お台場)、またはオンラインにて開催を致します。詳細については、追ってお知らせ致しますので、どうぞ奮ってご投稿およびご参加下さい。

=====以上